

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.209 2017.3.1

名古屋大学 重要文化財 馬場家住宅 研究センターとの 博学連携の歩み

平成25年(2013)3月、松本市教育委員会は、国立大学法人名古屋大学に設置された名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターと「文化・学術活動及び地域貢献に係る連携に関する覚書」を締結しました。以降4年間にわたって、博物館が同センターと連携して行った事業は、研究者が参加して馬場家住宅や松本の文化遺産を探究した「研究交流会」(総参加者151名)や、松本市民を対象に行った「公開講座」(総参加者123名)などがあります。こうした博物館と大学の連携による知の創出は、博物館活動のあり方に新たな可能性を考える機会となりました。



H26.1.21 研究交流会「有形遺産の魅力」(名古屋大学)



H26.9.6 公開講座「有形遺産とまちの魅力」(中町通り)



H28.9.10 公開講座「馬場家文書と馬場家住宅が語る文化と歴史」



H28.12.10 研究交流会「専門家が語る馬場家住宅の魅力」

- もくじ 誌上博物館 ◇ 春のおとずれを告げるひな祭り「松本の春、見つけた! 2017」……2
◇ 「松本の子どもの短歌・2016」入賞作品展 ……………3
◇ 企画展「木と漆 めくもりの手仕事」……………3
ガイドコーナー ◇ はんでんぼく……………4
◇ みゅーじあむショップ通信……………4

美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本

松本まると博物館連携企画

春のおとずれを告げるひな祭り「松本の春、見つけた! 2017」

はじめに

寒さの厳しい松本でも、3月に入ると穏やかな太陽の光に少しずつ春を感じられるようになります。松本市内田にある馬場家住宅では梅の花、菜の花、カイドウなどが咲き、色彩豊かな風景が広がります。

今年も松本市立博物館・はかり資料館・重要文化財馬場家住宅の3館では、松本まると博物館連携事業として松本伝統のひな人形を展示する「松本の春、見つけた! 2017」を開催します。



松本市立博物館 昨年の展示風景

へ～そうなんだ! ひな祭りの豆知識

ひな祭りは現在、3月3日（上巳の節句）に人形を飾り、桃の花や白酒をお供えて女の子の健やかな成長を祝う行事として広く親しまれています。ひな祭りの日に話してみたくなる豆知識をいくつか紹介します。

(1) 昔のひな祭りはどんな様子だった?

平安時代に紫式部によって記された、世界最古の長編物語の一つである『源氏物語』。「須磨」の巻には、光源氏が上巳の日に陰陽師を呼んで祓（はら）いをさせ、穢（けが）れをうつした“ひとがた”を船に乗せて流す様子が書かれています。これが、ひな祭りの起源の一つとされています。

(2) 人形のことを「ひな」というのはなぜ?

『源氏物語』『枕草子』『栄花物語』などに「ひひな遊び」という言葉が記されています。「ひひな」とは人形を意味しています。これが人形を「ひな」と呼ぶ理由の一つと考えられます。

(3) 松本では、月遅れのひな祭りを祝うのはなぜ?

江戸時代は、松本の人々も3月の節句を祝っていました。これは、当時の祝儀帳（節句の折に贈られた品々を記録する帳面）から知ることができます。月遅れの雛祭りを祝うようになったのは、明治6年（1873）の改暦以後の習俗であると考えられます。改暦によって生じた暦のズレを、従来の年中行事の慣習と調整するために試行錯誤した結果が月遅れのひな祭りを祝う習慣として定着していったのでしょう。

(4) 松本のひな祭りの特徴は?



松本市内の雛祭り（昭和10年頃）横内祐一郎氏提供

昭和10年（1935）頃の松本市内のひな祭りの様子がわかる写真が残されています。立体的なひな人形と併せて松本の伝統工芸である押絵雛（おしえひな）が数多く飾られています。押絵雛の題材は歴史上の人物や昔話、歌舞伎を題材としたものも見受けられます。立体的なひな人形と押絵雛を併せて飾る習俗は、現在、松本市域だけでなく周辺市町村でも見ることができます。

節句の意味や歴史を知ることが、年中行事を楽しむきっかけにしてみたいはいかがでしょうか。

伝統行事を体験しよう

企画展の会期中、各館では月遅れのひな祭りに合わせ、「甘酒」サービスを行います。また、馬場家住宅では、希望者に江戸時代の雰囲気（かっぱ）を体験していただくため、道中合羽（複製）を貸出します。それぞれに趣の異なる3館で、松本の春を感じていただければ幸いです。



（馬場家住宅学芸員／大島浩）

月遅れのひな祭り展……………松本市立博物館
押絵雛展～町屋で楽しむひな祭り～……はかり資料館
押絵雛展～古民家で楽しむひな祭り～…馬場家住宅

【会 期】3月1日（水）～4月9日（日）

「松本の子どもの短歌・2016」入賞作品展

窪田空穂記念館では、松本市内の小・中学校、特別支援学校の児童・生徒を対象に、短歌作品を募集する「松本の子どもの短歌」を毎年実施しており、今年度で14回目を迎えました。

応募された短歌は作品集にまとめて刊行するとともに、「空穂系」歌人による選考が行われ、優れた作品には、最優秀賞・優秀賞・空穂会賞が贈られます。

今回は、全体で7,009首の応募があり、その中から最優秀賞4人・優秀賞20人・空穂会賞245人が選ばれました。これら入賞作品は「松本の子どもの短歌・2016」入賞作品展でご覧いただけます。みなさんもぜひ、子どもたちのフレッシュな感性に触れてください。

「松本の子どもの短歌・2016」入賞作品展

【会 期】3月18日㊤～4月16日㊤

【会 場】窪田空穂記念館・会議室

最優秀作品

「本を読むページめくれば楽しくて私の心広がっていく」（福田菜奈さん・筑摩小6年）

「すみ渡る寒空の下かけぬける北風さんと一年生が」（伊藤恵理子さん・芳川小6年）

「乗鞍の頭に雪がのったとき僕の頭にニットの帽子」（酒井孝瑛さん・鎌田中2年）

「雲間から光の雨が降りそそぐ父と二人で帰る夕暮れ」（塩原香葉子さん・高綱中3年）

（窪田空穂記念館学芸員／高山直樹）



昨年度の作品展の様子

松本民芸館 Tel.0263-33-1569

企画展「木と漆 ぬくもりの手仕事」

アジア地域に広く分布生育する漆の樹液は、古来、天然の美しい塗料として、また道具や器物の接着剤として用いられてきました。

特に、日本の漆器は、他のアジア諸国には見られない「下地」と「塗り」の多くの工程を経て作られ、世界から“japan”と呼ばれるほどに発展しました。



ロウソク立て

民芸運動を提唱した柳 宗悦は、豪華絢爛な金蒔絵などではなく、庶民の生活に交わった漆絵などの日常品に、自由で伸び伸びとした美的価値を見出しました。

柳を師と仰いで民芸の道をひたすら歩み、松本民芸館を創館した丸山太郎の蒐集品には、木漆工品がおおよそ1,500点あまりあります。

このうち朱塗りのロウソク立ては、昭和39年に来館した英国の陶芸家バーナード・リーチが、「ガラスのホヤとろくろ筋の入った台の姿がよく調和して、自分の部屋でも使いたい」と感想を述べたほどの逸品です。【雑誌『民藝』昭和39年10月号】

しっとりとして暖かみのある手ざわりと、使うほどに深まる色つやは日本の文化そのものです。

（松本民芸館館長／田中有規子）

「木と漆 ぬくもりの手仕事」

【会 期】～4月23日㊤

【会 場】松本民芸館

松本の春、見つけた! 2017

松本では、月遅れの4月3日にひな祭りを祝う風習があります。月遅れのひな祭りにあわせて、博物館が所蔵する松本伝統のひな人形を紹介します。

月遅れのひな祭り展

会 期 3月1日(水)～4月9日(日)(会期中無休)
会 場 市立博物館 1階ロビー・常設展示室
料 金 通常観覧料(大人200円、小中学生100円)
問 合 せ 市立博物館(Tel.32-0133 Fax32-8974)へ

押絵雛展～町屋で楽しむひな祭り～

会 期 3月1日(水)～4月9日(日)
(月曜休館、休日の場合はその翌日)
会 場 はかり資料館 第1展示室・お休み処
料 金 通常観覧料(大人200円、中学生以下無料)
問 合 せ はかり資料館(Tel・Fax36-1191)へ

押絵雛展～古民家で楽しむひな祭り～

会 期 3月1日(水)～4月9日(日)
(月曜休館、休日の場合はその翌日)
会 場 馬場家住宅
料 金 通常観覧料(大人300円、中学生以下無料)
問 合 せ 馬場家住宅(Tel・Fax85-5070)へ

甘酒サービス

月遅れのひな祭りに合わせ、来館者に甘酒を提供します。

日 時 ①4月2日(日)午前9時30分～なくなり次第終了
②4月3日(月)午前9時30分～なくなり次第終了
会 場 ①はかり資料館、馬場家住宅
②市立博物館
料 金 各館通常観覧料
問 合 せ 市立博物館(Tel.32-0133 Fax32-8974)へ

旧制高等学校記念館から

☎0263-35-6226

松高生の青春日記4―自治こそ寮の誇りなり―

信州大学の学生たちによる、旧制松本高等学校の日記・記録調査の研究報告展です。思誠寮に残る日記などの資料をもとに、松高生の寮生活を追っていきます。

会 期 3月4日(土)～5月7日(日)
会 場 旧制高等学校記念館 1階ギャラリー
料 金 無料(常設展は通常観覧料)
問 合 せ 旧制高等学校記念館へ

考古博物館から

☎0263-86-4710

春季企画展「わが地区の逸品 ～山辺地区の遺跡～」

針塚古墳や林城跡など、特色ある遺跡が残る山辺地区の出土品を紹介します。地域の身近な文化財をぜひご覧ください。

会 期 4月22日(土)～6月25日(日)
場 所 考古博物館 第2展示室
料 金 通常観覧料(大人200円、中学生以下無料)
問 合 せ 考古博物館へ

あとがき

重要文化財馬場家住宅には、市内の小学3年生が社会科の勉強でやってきます。江戸時代の古民家で、昔使われていた道具から昔のくらしに思いを巡らせます。質問の時、「江戸時代に、一番大切だったのは何ですか?」と問われました。みんなに考えてもらうことにしました。お金、生活するための食べ物、水…。一人の児童が「家族」と答えてくれました。大切なことに気づいてくれた児童の答えに感動しました。(H.O)

松本市立博物館から

☎0263-32-0133

学都松本・博物館「飲館楽学対談」を開催します

旧開智学校やこれからの博物館のことを参加者全員で語りあいます。

日 時 ①第34回「市民に支えられる旧開智学校」
3月4日(土)午前10時30分～正午
②第35回「旧開智学校校舎のあゆみ」
3月11日(土)午後1時30分～3時
③第36回「これからの松本市立博物館」
3月19日(日)午前10時30分～正午

会 場 市立博物館 講堂
定 員 各30人
料 金 通常観覧料(大人200円、小中学生100円)
対 談 者 ①旧開智学校ボランティアガイドメンバー、遠藤正教／旧開智学校校舎学芸員②佐藤玲子氏／元市立博物館長、遠藤正教③笹本正治氏／長野県立歴史館長、窪田雅之／市立博物館長
申込み・問合せ 市立博物館へ

時計博物館から

☎0263-36-0969

時計ネジ巻き見学会

普段は見ることができない、開館前に時計技師が行っている古時計のネジ巻きや時刻合わせの様子を、解説をまじえながら公開します。

日 時 3月18日(土)・19日(日)午前9時～10時
会 場 時計博物館 常設展示室
料 金 通常観覧料(大人300円、小中学生150円)
定 員 20人
問 合 せ 松本市時計博物館へ

四賀化石館から

☎0263-64-3900

福寿草まつりコーナー展示「四賀のイワクラ(磐座)」

信仰の対象である四賀地区の巨岩を岩淵四季氏撮影の迫力ある写真で紹介しします。3月11日(土)～21日(火)の福寿草まつり期間中は無休で開館し、期間中は毎日先着30組の観覧者にアンモナイト化石のレプリカをプレゼントします。



会吉の岩殿山観音堂

会 期 3月3日(金)～3月30日(木)
会 場 四賀化石館 1階ロビー
料 金 通常観覧料(大人300円、小中学生150円)
問 合 せ 四賀化石館へ

みゅーじあむショップ通信

博物館

松本市立博物館ミュージアムショップでは、新商品としてオリジナル菓子缶「博物館」定価900円(税込)を販売中。中にはチョコレートやクッキー、ラムネが入っています。お城や七夕人形などをデザインに用いた乙女心をくすぐるパッケージ! 松本の思い出を持ち帰っていただけたら幸いです。



あなたと博物館 No.209

発行年月日/平成29年3月1日
編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL : <http://www.matsu-haku.com>
e-mail : mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp



印刷 川越印刷株式会社